



台風・大雨シーズン到来！

風水害への備えは できていますか？

夏から秋にかけての台風シーズンは、全国各地で毎年のように災害が起きており、警戒が必要な季節。牛久市でも令和5年度から5河川が洪水浸水想定区域に指定されています。命を守るために大切なのは「事前の備え」と「正しい情報」。いざというときのために何を備えて、どう行動するべきか改めて考えてみましょう。



過去市内で起きた被害

問 防災課 ☎内線1682、1683

マイタイムライン(防災行動計画)の作成

災害が起きた時に自分が取るべき行動を事前に想定しておきましょう

市のハザードマップを参考に、自分がどのタイミングでどこに避難すればよいか、実際の災害を想定しながら具体的な行動計画を立ててみましょう。いざというときに冷静に行動ができます。



◀作り方や作成例など詳しくは県HPへ



牛久市洪水ハザードマップ

市では令和5年度から、小野川・乙戸川・桂川・稲荷川・谷田川(牛久沼)の5河川が県によって洪水浸水想定区域(洪水の危険区域)の指示・告示を受け、令和6年度に牛久市洪水ハザードマップを作成しました。

※ハザードマップは市役所や各施設等で配布しており、市ホームページからも確認できます▶



《ハザードマップ活用方法》

- ①自宅が洪水や土砂災害の危険区域にあるか確認する
- ②最寄りの避難所や安全な避難ルートを確認する
- ③家族や近所の人と共有する など



《掲載情報》

- ◎洪水浸水想定区域
- ◎土砂災害警戒区域
- ◎指定避難所・福祉避難所情報
- ◎食料・物資等の保管場所情報
- ◎風水害対策 など

日ごろから備える

水・食料品などの備蓄をする

普段から必要品の備蓄をしましょう

災害発生時、救援物資が届くまでには時間がかかります。備蓄品は最低3日、できれば1週間分の水と食料を備蓄しましょう。

備蓄をするなら ローリングストック法

普段から少し多めに食材等を買っておき、使った分だけ新しく買い足していくことで常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法です▶



非常用持出袋を準備する

避難の際に持ち出すものを
用意しましょう

非常時に持ち出すべきものをあらかじめ用意し、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。



▲備蓄品の例や非常持出品リスト(県HP)



災害への備え

市の取り組み

市では、市民の皆さんの安心・安全な暮らしを守るため、大雨や台風を想定

した避難訓練、防災無線子局(放送塔)の建て替え、企業との災害時協定(災害時の食料・生活物資・宿泊施設の供給等)、アレルギーに配慮した非常食等の備蓄など、防災・減災に関してさまざまな取り組みを行っています。



▲牛久市地域防災計画

Pick Up

道路や河川の異常をLINEで通報

牛久市内不具合等情報提供システム

市内の道路や河川等の異常を発見した際、どなたでも市公式LINEから通報いただけます。普段から道路の破損や河川の異変等の情報提供を受けて市が早急に対応することで、災害時の減災につながります。安全なまちづくりのために、市民の皆さんのご協力をお願いします。

問 道路整備課 ☎内線2513



Pick Up

自力避難が困難な方を支援

災害時避難行動要支援者名簿の作成

災害発生時、自力避難が困難な方(避難行動要支援者)が迅速に避難できるよう、市では支援が必要な方を選定し、名簿を作成。避難支援等関係者(行政区、自主防災組織、警察・消防など)への情報提供を行います。

問 防災課 ☎内線1682



最新の災害情報を入手する

雨量情報・警報等の情報や、市内の災害情報を入手しましょう
災害に対して適切に対応するには、正確な情報が必要です。
市や公共機関が発信する最新の情報は左記のツールで入手できます。

今すぐダウンロード！



牛久市防災アプリ

「防災うしく」をご利用ください！

市の防災関連情報を1つにまとめたスマートフォンアプリです。災害時の情報収集に活用できます。

《主な機能》

- ◎市からの最新の防災情報を即時に受け取れる
- ◎防災無線で流れた内容も確認できる
- ◎現在地から指定避難所までのルート検索が可能
- ◎ハザードマップや災害への備え等のリンク集
- ◎安否確認（災害時専用伝言板サイトへ直接リンク）

《その他情報取得ツール》

テレビ

リモコンにある「dボタン」で気象情報や災害情報などが見られる

市ホームページ

トップの「緊急情報」に災害情報などを掲載

かっぱメール

市の災害情報や緊急情報を配信



防災行政無線

警報・注意報等の緊急情報
電話サービス ☎0120-506-706

FMうしくうれしく放送

警報・注意報等の緊急情報
FMラジオ周波数85.4MHz

茨城県防災情報メール

県からの気象情報や避難関連情報を配信



警戒レベル4 避難指示で全員避難

危険が予想される場合は

早めの避難を

市や防災関係機関等

から避難指示等がでたとき

（下記警戒レベル参照）や、土砂災害

の前兆現象が見られたり自宅が倒壊

のおそれがあるなど避難が必要だと

判断したら、すぐに行動しましょう。



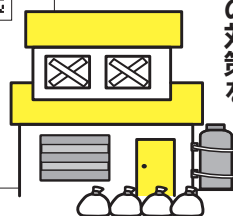
警戒レベル	避難情報
5	緊急安全確保
警戒レベル4までに必ず避難！	
4	避難指示
3	高齢者等避難
2	大雨・洪水注意報など（気象庁）
1	早期注意情報（気象庁）

災害発生

台風・大雨予報が出たら

家の風水害対策をする

予報が出たら家の外は早めの対策を
雨や風が強くなっているからでは、
外での作業は危険です。早め
に対策をしましょう。



《家の外や中の備え》

- ◎網戸や雨戸をしっかりと締め、必要なら補強する
- ◎側溝や排水溝を掃除して水はけをよくしておく
- ◎風で飛ばされそうな庭木やプロパンガスなどを飛ばないように固定、または家の中へ格納
- ◎浸水の危険性が高い場合は土のうを設置する
※市内の5カ所に「土のう置き場」があります。市民の方は24時間いつでも土のうを取りに行くことができます▶



- ◎自動車のガソリンを満タンにしておく
- ◎スマートフォンやパソコンをフル充電しておく
- ◎飛散防止フィルムを窓ガラスに貼る など

状況によっては在宅避難

災害発生時、自宅での安全が確保できる場合は自宅待機（在宅避難）を

避難所はスペースや物資が限られ、環境の変化などで体調を崩す場合もあります。自宅

の安全が確保できる場合は、住み慣れた自宅ですのまま生活する

「在宅避難」を選択肢の一つとして検討してください。



Pick Up

松ヶ丘行政区内に所在する松ヶ丘婦人消防隊は、住民への防災知識の普及活動を通じて地域の安心・安全な暮らしを支えています。今年で結成30年を迎えた同隊の功績を称え、7月14日、牛久消防署長から感謝状が贈呈されました。



市では、自主防災組織の結成や資機材等整備費、活動に対し補助金の交付を行っています



▲自主防災組織

訓練を行っています。災害時は地域住民同士が助け合う「共助」が重要です。災害対策に地域一丸となって取り組みましょう。

災害への備え

地域の取り組み

「自主防災組織」

自主防災組織とは「自分たちの地域や家族は自分たちで守る」という意識に基づき、地域の住民が自主的に防災活動を行う組織です。現在、市には57の自主防災組織があり、各団体の災害意識向上のための講習会や救出救護、避難誘導、応急手当などの